

「岡山健康科学」投稿規定

2018年6月改訂

- (1) 健康科学に関する臨床および教育に関する研究、総説、実践報告・事例報告などについて、オリジナリティに富んだ原稿を歓迎する。
- (2) 原稿提出締め切りは6月末日(刊行日は9月末日)および12月末日(刊行日は3月末日)の年2回とする。
- (3) 原稿の種類は、①原著論文、②総説、③資料、④事例報告、⑤短報、⑥その他教育・研究に関するものの5種類とし、未発表のものに限る。
 - ① 原著：医療・福祉関連分野あるいは教育分野において、学術的あるいは社会的に価値がありかつオリジナリティのある研究成果を記述した論文。
 - ② 総説：医療・福祉関連分野あるいは教育分野における既発表のいくつかの論文をまとめ、さらに新しい解釈や考察を加えた論文。
 - ③ 資料：総説、原著、事例報告の分類に該当しないが、重要な見解、記録など、紀要編集委員会が適当と認めたもの。(研究・調査報告、紹介など)
 - ④ 実践報告・事例報告：1例ないし複数例の対象者について、その症状、アプローチ(介入)法、経過などが教訓的な場合(成功例・失敗例)、要点を絞って記述し報告したもの。
 - ⑤ 短報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
- (4) 研究倫理においては、ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また、原則として厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に従うこと。倫理審査を受けて承認されていること。
- (5) 原稿は、原則として横書きとし、ワープロを使用する。A4判用紙1ページ当たり、和文の場合は2段×21文字×40行、欧文の場合はダブル・スペースで2段×44文字×40行とする。文字サイズは11ptとする。図・表は1枚1点とする。
- (6) 原稿分量の上限は、原則として、図表を含め、刷り上がりA4判用紙25ページ以内とする。なお、論文抄録については、3ページ程度とする。
- (7) 論文の構成は、表題、著者名、所属、要旨、本文(はじめに、方法、結果、考察)、文献の順序とする。参考文献等は、原則として論文末又は章末に一括し、著者名全員を列記する。

- (8) 表紙には、表題、希望する論文の種類、3つのキーワードを記載する。著者、共著者の所属の表記は、氏名の右肩および所属の冒頭に¹⁾²⁾ というように脚注番号をつけること。
- (9) 各章の表題は 1. 2. 3. とし、章中の項目は 1), 2), 3) とする。項目以下には (1), (2), (3) とする。アラビア数字や外国語の文字は原則として半角とする。
- (10) 紀要に使用するフォントは、原則として和文は MS P 明朝（全角：句読点及び記号を含む）、欧文は Century（半角：句読点及び記号を含む）とする。
- (11) 原則として、図表等は白黒印刷とする。カラー印刷を希望する図表等がある場合は、その旨を併せて註記することとする。図表のタイトルは、図の場合は下、表の場合は上に表記する。
- (12) 参考にした書籍、論文、資料がある場合、パラグラフの末尾に脚注番号を入れ、参考にした書籍、論文、資料の当該部分の出典を参考文献に記載する。脚注番号は半角数字に半角括弧で括弧。
- (13) 引用文献は引用順に列記する。文献の省略は公の省略法 (Index Medicus など) に従う。引用文献の著者氏名が 4 名以上の場合は最初の 3 名を書き、他は・他、または et al. とする。
- ① 雑誌の場合…著者名：題名．雑誌名，巻（号）：頁，発行年。
(例) 1) 大嶽昇弘，林 典雄，山田みゆき・他：牽引装置の牽引力の再現性について．理学療法科学，13（4）：191-194，1998.
2) Kobetic R, Triolo RJ, Marsolais E, et al.: Muscle selection and walking performance of multichannel FES systems for ambulation in paraplegia. IEEE Trans Rehabil Eng, 5(1): 23-29, 1997.
- ② 単行本の場合…著者名：書名．出版者，発行地，頁．発行年。
(例) 1) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門．医学書院，東京，102-105，1977.
2) Kapandji IA: The physiology of the joint. Churchill Livingstone, New York, 165-180, 1982.
3) Shumway-Cook A, Wollacott MH: モーターコントロール 運動制御の理論から臨床実践へ．(訳 田中 繁・他)，医歯薬出版，東京，428，2011.
4) Thom M, Sisodiya S, Najm I: Neuropathology of epilepsy. In: Love S, et al. (eds): Greenfield's Neuropathology, 8th ed, Hodder Arnold, London, 833-887, 2008.
- ③ 電子文献の場合…著者名：書名．入手先 URL，閲覧日。
(例) 1) 厚生労働省：介護給付費実態調査月報（平成 19 年 1 月審査分）．
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/kyufu/2007/01.html>（閲覧日 2007 年 3 月 29 日）。

(14)完成原稿（図表等を含む）は、印刷した正本 1 部及びコピー3 部を提出し、図表等がある場合は、その挿入箇所及び仕上がりサイズを、正本原稿中の適切な箇所に朱書きで指定することとする。また、Microsoft Word 形式、一太郎形式又はテキストファイル形式で保存した原稿（表を含む）を入れた CD-R 等を併せて提出することとする。ただし、表を Microsoft Excel で作成している場合は、Excel 形式のファイルを併せて提出することとする。図がある場合は、その画像データを tiff, jpeg, png, eps 等の一般的な画像形式で保存したものを原稿と同じ CD-R 等に入れて提出することとする。なお、CD-R 等は、後日、執筆者に返却する。

(15)原稿の採否は査読結果に基づき紀要編集委員会が決定する。また、紀要頁数等を勘案の上、編集委員会の判断によりリライト、縮小等を求める場合もある。

(16)校正の際の訂正加筆は、図表のレイアウト及び植字上の誤りに限るものとし、内容に関する訂正、挿入、削除は認めない。

(17)本誌に掲載された論文の著作権は、全て本山学園に帰属する。他の文献から文章・図・表などを転載される場合は、あらかじめ著作権者の了解を得ること。原著者との交渉は投稿者において直接行うこと。また、それらには出所を明記すること。

(18)原稿提出先

〒700-0913

岡山県岡山市北区大供3丁目2-18

学校法人本山学園 岡山健康科学編集委員会

電話：086-233-8020

附則

本規定は2016年12月1日より施行される。

2017年9月 編集委員会会議を経て本規定が一部改正された。

2018年6月 編集委員会会議を経て本規定が一部改正された。